

株式会社クライミング

福岡県みやま市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

熟練技術者は、会社の宝。ものづくり職人の高齡化対応として、健康経営を推進。独自技術でトップシェア製品を輩出

- 退職年齢の引き上げや「健康経営」を通じて、ものづくり現場の持続可能な働き方を実践
- 独自技術をベースに理化学ガラス製品分野で国内トップシェア企業として、多様な産業分野に貢献
- 熟練技術に頼ったガラス加工に関して独自の装置開発等を通じて付加価値創出を実現

企業基本情報

所在地	福岡県みやま市瀬高町松田 630-1
電話/FAX	0944-63-4840/0944-64-1004
URL	http://www.climbing-web.com
代表者	代表取締役社長 濱地 信
設立	1932年
資本金	3,200万円
従業員数	76人



会社概要

メスシリンダーをはじめとする、理化学分析用ガラス関連製品を製造するものづくり企業。同社のガラス製品は特殊形状で精密な工程プロセスを経るため、緻密で熟練の技術が必要。開発・教育用途に企業や研究室等で幅広く用いられているほか、自動車・鉄道等の分野においても板ガラス、有機ELパネルに関連した特殊製品も手がけている。生産装置は独自開発のオリジナル。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

健康経営等を通じて熟練技術者等の新たな働き方を提供

ものづくり企業としての課題（人手不足／技能伝承）に対して、退職年齢を変更（健康を前提に60⇒65⇒70歳と勤務年齢を引き上げ）し、高齡化する熟練技術者の活用の幅を広げている。

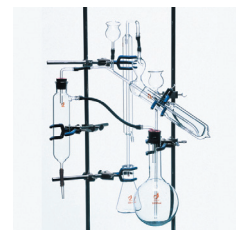
従業員満足度をあげるという視点で「健康経営」にも取り組み、女性社員への子宮がん、乳がんの検診促進（実費負担）や、従業員で構成された運動系サークル活動への援助等を実施。女性や若い世代の働き方にも配慮した組織マネジメントを通じて風通しの良い職場環境を実現。



熟練技術者の働き方への対応が急務

独自の技術を高めて理化学ガラス製品の分野でトップシェア

理化学用ガラス、ガラス分析、ガラス目盛加工製造の国内トップシェア企業。ガラス器具関連の独自技術として、①ガラスに目盛を正確につける技術、機械で大量にガラスを加工する技術、②職人技による熟練のパーナー加工やガラス研磨技術、③精度よくガラス表面をコントロールする技術、④繊細なデザインを施した装飾ガラス・ガラス加工の副産物から開発したステンレスの表面処理剤の技術を保有。また、30 μm～100 μm厚の超薄板ガラスが切断できる特殊技術を有する。



国内でニッチトップの理化学用ガラス器具

自社開発装置により「技術伝承」を効率的に推進

製造現場では、人材育成に時間がかかり、かつ技術伝承には手間ひまがかかる。結果として慣れた人に業務が集中し長時間労働を招きやすい。このような状況を改善するため、ガラス製造加工機に係る装置は内製し、常にカスタマイズ・バージョンアップしている。また、ガラスを火であぶり成形するプロセスは時間と根気が必要であるが、自社開発自動機の導入により、1人で3台を管理して生産性を向上させている。



生産プロセスを内製化し付加価値創出